

平成 25 年度第 1 回 帯広市行財政改革推進市民委員会 議事要旨

日時：平成 26 年 1 月 30 日（木）午後 7 時 30 分～午後 8 時 55 分

場所：帯広市役所 10 階 第 2 会議室

■ 出席委員

大竹委員、大野委員、河尻委員、木下委員、仙北谷委員、田中委員、千葉委員、本田委員、村上委員、山崎委員

■ 説明員（事務局）

草森行政推進室長、中里行政推進室主幹、三浦行政推進室主任、藤内行政推進室主任補

■ 傍聴者等

報道関係者 2 名

■ 次第

- 1 開会
- 2 委員紹介、事務局紹介
- 3 議事
 - (1) 委員会の運営について
 - ① 委員会について
 - ② 委員長の選出
 - ③ 職務代理者の指名
 - ④ 委員会の運営について
 - (2) 帯広市行財政運営ビジョンの推進について
- 4 閉会

■ 議事要旨

1 開会

(本迫副市長あいさつ)

2 委員紹介、事務局紹介

(各委員及び事務局職員の紹介)

3 議事

(1) 委員会の運営について

【事務局】議事の進め方について、本日が、委員改選後初めての会議となることから、委員長を選任する必要があり、それまでの議事は、事務局において進めさせていただく。

本日は、委員 10 名全員の委員が出席し、過半数に達しているので、帯広市行財政改革推進市

民委員会設置要綱第7条第2項により、会議が成立していることを報告する。

次に、本日の会議資料について、会議次第と本日の配付資料一覧、そして資料1-1から資料6までを事前にお届けし、ご持参いただいているが、ご確認願いたい。

はじめに「①委員会について」を議題とし、事務局からご説明させていただく。

(事務局から、資料1-1により、委員会の設置趣旨や所掌事務、依頼期間等を説明)

【事務局】次に「②委員長の選出」を議題とする。委員長は、審議会条例第6条第1項により、互選により定めることになっている。選出について、ご意見はあるか。

【委員】委員長は、仙北谷委員にお願いしたい。

【事務局】委員長には仙北谷委員とのご発言があったが、他にあるか。

(意見なし)

【事務局】他にないので、委員長は仙北谷委員に決定してよろしいか。

(意見なし)

【事務局】ご異議がないようなので、委員長は仙北谷委員に決定し、今後の議事は、設置要綱第6条第2項により、委員長が議長を務めることになっていることから、仙北谷委員長にお願いする。

(委員長からあいさつ)

(委員長あいさつの後、副市長退席)

【委員長】それでは、引き続き、議事を進行させていただく。「③職務代理者の指名」を議題とする。職務代理者については、設置要綱第6条第3項により、委員長が指定することになっていることから、大竹委員を職務代理者に指名する。よろしく願いたい。

(職務代理者からあいさつ)

【委員長】次に、「④委員会の運営について」を議題とする。事務局から説明願う。

(事務局から、資料2により、委員会運営上の基本的事項について説明)

【委員長】ただいまの説明について、ご意見等があれば、ご発言願う。

(意見なし)

(2) 帯広市行財政運営ビジョンの推進について

【委員長】次に、「(2) 帯広市行財政運営ビジョンの推進について」を議題とする。事務局から説明願う。

(事務局から、資料3により、行財政運営ビジョンの内容について説明)

(事務局から、資料4により、行財政運営ビジョンの推進体制や方法などについて説明)

(事務局から、資料5により、平成25年度実施計画の内容について説明)

(事務局から、資料6により、ビジョン推進における委員会の関わり方について説明)

【委員長】ただいまの説明について、ご意見等があれば、ご発言願う。

【委員長】来年度の委員会は、基本的に5月ごろと8月ごろの開催を見込んでよいか。

【事務局】平成26年度は市長改選期であり、予算も当初(骨格)予算と6月補正(政策)予算とに分けて編成作業を進める関係上、ビジョンの実施計画についても、6月補正予算分までを反映し策定する予定。したがって、平成26年度については、実施計画策定の報告が、6月以降となる可能性もある。平成25年度実施計画の検証等に係る委員会は、想定どおり8月ごろに開催できる見込み。

【委員】ビジョンの冊子(資料3)に、用語説明が盛り込まれたのは、わかりやすく、よかった。

【事務局】昨年度の委員会の中で、用語についてわかりにくいとのご意見もあり、ビジョンのとりまとめにあたり、基本的な用語の説明の部分を加えた。

【委員】ビジョンの取り組みの範囲は広く、資料のボリュームも大きい。限られた審議時間の中で、どのように議論していけばよいか。

【事務局】まず、資料を事前にお届けし、内容を前もってご確認いただく中で、会議を開催したい。また、各実施項目について、逐一ご意見をいただいていくのも難しいと思うので、まずは各委員の関心がある部分について、ご意見、ご議論いただければと考えている。

【委員長】事前に資料を受け取っても、また、会議時間の制約からも、全体をすべて確認するのは難しいかもしれないが、各委員の関心や興味のある部分を中心にチェックしていきたい。

【事務局】事務局としても、各委員にご確認・ご意見いただきたい論点をまとめるなどして、議論の参考にしていただくなどしたい。

【委員長】実施項目すべてが重要な取り組みだが、例えば市として重点的に取り組んでいる項目などを中心に議論してもよいのでは。

【委員】なるべく早めに論点などを示してほしい。

【委員】そうしないと膨大すぎて議論のポイントがわかりにくい。

【委員】資料は早めに届けてほしい。また、長期的な視点で取り組むものと、短期的に結果を出してい

く必要があるものに分けて考えることもできる。この委員会で、限られた任期・時間の中では、長期的な視点よりも、短期的な取り組みの展開に役立つよう、毎年度の検証結果や課題、方向性などについて議論できるようにしたほうがよい。

【委員】国の政策に影響される取り組みや、法的な制限などで市の取り組みに限界がある部分もあるのでは。そうした背景や制度も知りながら議論すると有意義になると思う。資料には、そうした解説・説明もできるだけ加えてほしい。

【事務局】ご意見も踏まえ、わかりやすい資料等の整理を心がけたい。

【委員】31の実施項目があり、それぞれの委員で、関心や専門の分野も異なる。効率的に、漏れなく各項目を見ていくために、委員間で、チェックする項目の範囲の役割分担は必要か。

【委員】市民の視点から、気になる部分などを、各自でとりあげていけばよいのでは。

【委員長】これまでの委員会の中でも、実際には、一つひとつの項目を逐一チェックしていたわけではなく、各委員の関心などに応じて、意見交換をしていた。話題にならなかった項目もある。

【事務局】ビジョンに掲げている取り組みは、市民の皆さんに広く知っていただきたい面もあり、各項目の背景や問題点、取組状況などはできるだけわかりやすくお伝えする必要がある。

委員それぞれのご専門やご関心もあると思うが、広範囲にわたるビジョンの取り組みすべてを、皆さんでカバーできるわけではない。委員会では、基本的には、一般的な市民の目線から、例えば「何が問題点・論点なのか」、「どう取り組んでいくのか」などについて、ご意見やご不明な点などをお寄せいただければと考える。

【委員】長く委員を務めていると、新聞などを注意して見るようになる。市の説明や他の委員の意見などを聞いて、詳しくは理解できなくても、頭の中に残っていく。

これから、皆さんも様々な面で勉強しながら、市に伝えていけばよいと思う。

【委員長】専門や関心を活かして、議論を深めていくことも大切。まずは、市民の視点から意見を述べるのが基本的な姿勢で、それぞれ、今後様々な知識や関心も広げていきながら、関わっていただければと思う。

【委員】限りある予算の中で、効率的・経済的に取り組むには、いわゆるタテ割りの行政ではなく、ヨコのつながりをもった中で進めていく必要がある。ビジョンの中には、そうした視点が重要な取り組みもあり、注目して関わっていきたい。

また、今日の会議資料も、とてもわかりやすくできていると感じた。限られた時間の中でも、いい形で議論をしていきたいので、今後もよろしくお願いしたい。

【委員】当初は、行政改革の対象や内容も明確でない中で、取り組んできた面もあったかと思う。また、これまでは、市内部の改革が主に取り組まれてきたが、最近では、市民サービスの改善などの視点も加わって、取り組みがかなり具体的に示されてきている。

【委員】最近では、例えば指定管理者制度が導入された施設でのサービスの内容や、従業員の雇用の問題などといった部分にも注目していかなければならない。

【委員長】この委員会では、市場化テストや、市民協働の話題もとりあげてきた。市と市民の役割分担の中で、市民が担えることは市民が担う、という考え方をもちながら、行政の仕事やサービスが、どうあるべきか、どういう形で提供されることが効率的なのか、市民の目線で議論することが大切。

【委員】取り組みの範囲がとても広い。具体的な議論ができるような知識を得ながら参加したい。

【委員】取り組みの主管課は、かなり偏りがあると感じた。例えば福祉担当課に関わる取り組みはそれほど多くないのだろうか。

【事務局】主管課は、基本的には、実施項目の推進に関わる制度や仕組みを担う課、複数の課にまたがる取り組みのとりまとめを担う課などで、ビジョンの性格上、総務部や政策推進部など、管理部門の課が多くなる。実際の取り組みでは、例えば「市民協働」の考え方の中で、各分野で取り組みが実施されていくので、福祉関係の各課も実施課として関わっていくことになる。

【委員】十分にわからない分野・項目もあるが、関係する情報があれば得ていきたいし、質問もしていきたい。

【委員】ビジョンには様々なことが書かれており、知りたいこともたくさんある。ただ、それを委員会の場で逐一確認していったのでは、議論にならないので、興味がある点やわからない点などについては事前に質問や情報収集しながら、参加したい。

また、この委員会で皆さんの意見をまとめていくポイントが明確であったほうが、議論がしやすいと思う。

【委員長】来年度以降、委員会として答申などをまとめていく予定はあるか。

【事務局】指針としてのビジョンはすでに策定されており、今後、基本的には、その進め方が大きなテーマであり、委員会からご意見をいただきながら取り組んでいきたい。都度、当方からご報告する推進状況等に関して、各委員のご関心やご質問をお寄せいただければ、と考えており、また、いただいたご意見については、各担当課にフィードバックもしていく。

ビジョンの推進の中で、答申といったかたちで委員会としてご意見をまとめていただく機会はないと考えているが、ビジョンは必要に応じて見直しをする可能性があり、その場合に、例えば見直しの方向性などについて、ご意見をまとめていただくことは考えられる。

【委員長】本委員会では、市民の視点から市の取り組みをチェックし、市の取り組みに反映していく形になっているが、市に対して、外部から意見を述べ、チェックするのは、市議会の役割でもあると考えるが、ビジョンの推進体制の中で、市議会はどう関わるのか。

【事務局】市議会に対して、必要な報告等を行い、ご意見をいただきながら進めていく。

昨年度策定したビジョン（資料3）や、今年度策定した平成25年度実施計画（資料5）を、これまでに各議員へ配布しており、今後も、本委員会や一般の市民の皆さんと同様に、市議会と情報共有しながら進めていく。

毎年9月に、市の財政状況の報告書や総合計画の政策・施策評価の報告書などを各議員へ配布していることから、ビジョンの実施結果の報告書についても、それと同時期に配布し、決算議会などでご議論いただくなどを考えている。

【委員長】他になければ、本日の会議は以上をもって終了する。

以上